



参加と協働による市民自治のまちづくり ～ 麻生まちづくり市民の会に期待～

麻生区長 齊藤 隆

立春の候とはいえ、吹く風は未だ冷気を孕み、コートの中に余寒を忍び込ませてきますが、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成15年5月に「麻生まちづくり市民の会」が発足して約2年が経過しようとしています。この間、同会の方々には行政と連携しながら様々な分野でご活躍いただきました。

平成12年4月の「地方分権一括法」施行以来、中央から地方への分権化が進められてきました。また、川崎市においても‘市’から‘区’への分権化が図られています。

平成16年12月、第4回議会で新総合計画と自治基本条例が可決成立し、平成17年4月1日から施行されることとなりました。そこに示しております「参加と協働による市民自治のまちづくり」の理念を実行に移すため、区役所機能強化として“窓口サービス機能中心の「区役所」から、地域の課題を自ら発見し解決できる「市民協働拠点」へ”と基本方向が定められているところです。

このような分権化の波は、“自らの手でまちをより良くしていこう”という市民の自主的・自立的な活動が呼び起こしたものともいえます。今日、“地域社会における暮らしのあり方はそこに

住む市民自身で決定する方がより良い生活環境の形成につながる”との意識が高まり、また、その目的に向かって自ら行動する市民が増えてきています。



麻生区内にもよりよい住環境整備を求める様々な活動があります。これらのテーマについて問題意識を共有する市民と行政が協働して解決していくことが、今後のより民主的な地方自治の基本になっていくものと考えます。

顧みますと、平成12年2月に前身である「麻生まちづくり会議」が設置され、3年の活動のち、それを継承する形で現在の「麻生まちづくり市民の会」が設立されましたが、これは先述しました市民自治の充実を目指す動きの系譜に連なるものといえます。

このような地方行政を取り巻くダイナミズムの中で、「麻生まちづくり市民の会」の果たす役割は非常に有意義なものといえるでしょう。今後の益々のご活躍とご発展を祈念いたします。

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(どの会も傍聴が出来ます。会場は区役所地域振興課に問い合わせ下さい)

運営委員会…………… 2月8日/2月22日/3月8日(火曜日)14時から

実践部会…………… 2月3日(木曜日)14時から

パートナーシップ推進部会… 2月4日/3月4日(金曜日)18時30分から

バックアップ部会…………… 2月2日/3月2日(水曜日)14時から

市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

● 実践部会

重点化したテーマに基づいて、まちづくりの実践活動を行う

- 1) 道路交通小委員会
ヒヤリ・ハット・マップ作成
2種類のマップを作る。中学校区エリア毎のマップと、麻生区全域のマップ。
小学校校長会に了解をいただく予定。
 - 2) 緑・環境小委員会
 - a 緑地保全を目的にNPO法人の設立準備中
 - b 学習会、情報交流会の開催
 - c 斜面緑地調査活動
 - d エコライフチャレンジ
 - e 麻生山ゆりの会 9ヶ所に球根を植えた
 - f 葉積緑地整備 今後も続ける
 - 3) 福祉コミュニティ小委員会
第1回コミュニティフォーラム開催
 - ・子育てを通じて作る、地域のつながり
 - ・子育てしやすいまちは、高齢者にも障害者にも住みやすい街
 - ・住民の顔がつながるまちは、防犯にも防災にも強い街
- 平成17年1月22日 区役所4階会議室で

● パートナーシップ推進部会

行政とともにパートナーシップ型事業を企画し、その推進を行う

パートナーシップ推進部会が昨年から進めている活動には次のものがあります。

連続的に関わっているものとして、新しい市民利用施設の検討委員会運営スタッフとしての役割。これは市民参加型のワークショップ等を区役所と協働で委員会の裏方として運営するという、部会の本来の目的に沿った活動がしっかりと形になったものです。その他、「新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキの

落書き消し」の参加やアートセンター整備における市民参加のワークショップの運営等、パートナーシップ型事業が徐々にではありますが見えてきたのではないかと考えています。

● バックアップ部会

市民活動を支える、環境整備のための活動を行う

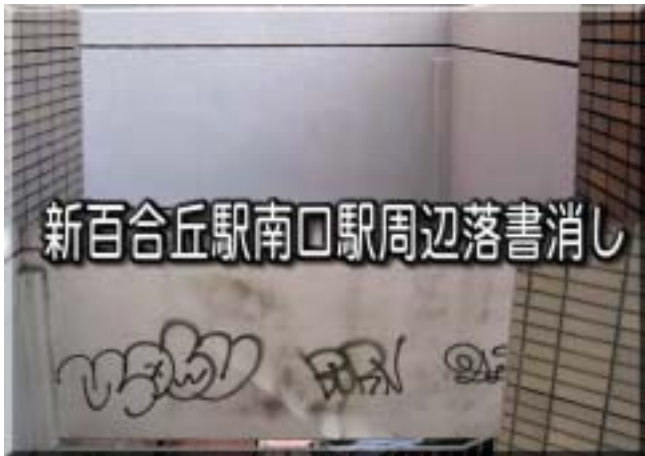
部会内小委員会活動は企画計画の佳境段階と言えますが、3年の期間中間点まで来た所から「市民活動を支える環境整備のための活動をどう進めるべきか」原点に立ち返った議論がされています。なお区民活動支援ルーム運営委員会は2月に参加団体の交流会また情報検討委員会も第三次パソコン講習（全五回）、交流会・学習会企画実行小委員会では好評だった「チラシづくりの達人」実践講座が予定されています。

区民活動支援ルーム運営委員会

麻生区役所4階にある「区民活動支援ルーム」では、その利用登録者の提案により、支援ルーム利用者登録団体の行っている活動をカードに記載していただき、利用者間での理解と交流を計るために「支援ルームの利用登録者活動紹介カード集」を作成しています。

それぞれの市民団体などの活動は、その活動内容が広く知られることが少なく、ユニークな活動、似たような活動など、お互いに知ることにより、刺激しあい、相互に支援しあい、さらに活動が活性化することを望んでいます。当座は、登録団体のみに配付の予定ですが、今後は公開もできればと検討いたします。

麻生まちづくり市民の会各部会活動報告は、その時々状況を選択して記事にしています。



新百合ヶ丘駅周辺は、1998年に『都市景観大賞』を受賞した美しい町並みが広がる一帯ですが、その玄関とも言うべき駅のペDESTリアンデッキが、心無い落書きとハトの糞で、かなり汚れています。新年を迎えるにあたり、せめて落書きだけでも落とせないものかと12月3日(金)朝8時30分に区役所玄関前に市民の会と景観形成協議会のメンバー20名が集い、4グループに分かれて作業することになりました。



現地(新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキ)では、地域振興課から2名、建設センターから15名に、ペンキ屋さんが1名加わって作業開始。ゴム手袋をはめ、柑橘系の香りがする溶剤を吹きかけ、ナイロンタワシで擦り、布で拭き取るという手順。吹きかけた溶剤が自分に跳ね返ってむせ込みながらも、2時間余り経った頃、落書きは消えました。その後をペンキで塗ると見違えるほど綺麗になりました。

穏やかな冬の日差しに恵まれたとはいえ、慣れない手つきで腰をかがめたり、背伸びを

しながらの作業は思ったより大変でした。

このままずっと綺麗なままで新年を迎えたいと祈りながら、昼過ぎ頃に区役所に戻りました。



次回はもっと多くの市民にも声を掛けて行う予定です。

市民活動施設見学会

12月5日に市民の会として「新しい市民利用施設」の参画運営に参考とすべく実施されました。

最初の見学先トムハウスは、鶴牧・落合・南野コミュニティセンターとして老若男女を問わず、暖かい気持ちで触れ合いが得られるよう多摩市コミュニティセンター 条例まであるほどの、協働が進んでいる所でした。

第二、三は鎌倉市NPOセンターの見学でしたが、建物の規模は麻生区に建設予定の物と同程度のものであり、今後の参考資料として提供できると思われます。



岡上跨線橋併設歩道橋について

実践部会・道路交通小委員会で取り扱っている、岡上跨線橋・併設歩道橋の改修については、関係当局に要請することは吝か（やぶさか）ではないが、地元町内会等の合同での要請の方がより効果的と考え、すでに運営委



員会の決定にしたがって、岡上町内会へ説明を行った結果、地元町内会としては、跨線橋の拡幅工事を含めた歩道橋整備要望があるの



で、同一にとのことでした。

県道真光寺長津田線の小田急・鶴見川を同時に跨線橋として、計画決定したのは、昭和39年で、44年に現在の跨線橋が開通・そのまま拡幅工事はしないまま現在に至っていますが、主要地方道、世田谷町田線の渋滞の影響で、岡上交差点からも渋滞になることが

多く、渋滞解消に岡上町内会の皆さんが腐心されていることと思われまますので、地元のご意見を尊重して、前向きに対処したいと考え



ておりますので、地域の皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。

麻生区コミュニティバス協議会設立

今年の5月から始まった麻生区コミュニティバス協議会の設立については、8月26日・9月29日・11月29日と3回に及ぶ全体会を行い、3回目の全体会を設立総会とすることが発起人から提案され、規約を承認した後、平成17年3月末までの任期として、会長碓井勝次・副会長内田進三・幹事長田島秀夫・幹事岡野幸雄・宮沢康宏・会計新井恵美子・会計監査関口達雄諸氏の役員を選出、承認を得て協議会を設立しました。

ついで、第一回の協議会を開催し、今後のスケジュールを確認しました。

「麻生まちづくり市民の会」新会員募集

ともに麻生のまちづくり
平成17年度の会員を募集しています。
設立趣意書や要綱について
問い合わせ・申し込みは
麻生区役所地域振興課（電話965-5116）

編集後記 酉年がスタートしました。『鶏の暁に鳴くは用なり、宵に鳴くは物怪なり』とは、先哲の詞。時を知り、時を得て、時に生きる。“麻生のまちづくり”もいよいよ本格化してきました。市民の会のメンバー全員が一丸となって、激動の時代を駆け抜ける時の人として、この一年を頑張っていきたいものです。理想郷“あさお”の実現は、今この時に懸かっているとの自覚で。（清水）

発行：麻生まちづくり市民の会広報委員会
連絡・問い合わせ先：麻生区役所地域振興課 電話965-5116